

- 三八上北森林管理署の「採材検討会及び労働災害防止協議会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和5年7月18日（火）に青森県十和田市法量の谷内国有林及び十和田市西コミュニティーセンターで開催された「令和5年度 採材検討会及び労働災害防止協議会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は晴天のなか、林業関係団体や県・市町村担当者、署管内の林業事業者など70名を超える参加を得て開催されました。三八上北森林管理署長の挨拶後、青森事務所からは、需要動向についての説明とともに、スギ等針葉樹の4m採材の推進や適切な仕訳の徹底、広葉樹一般材の採材や作業日報の電子管理による「生産性向上の取組」等に関して協力をお願いしました。その後、署の担当者から資料を基に採材の考え方や留意点、丸太の販売実績、現地の試供木（スギ・広葉樹各1本）の採材案について説明があり、署の採材案に意見を求める形で採材検討が行われました。スギの採材に関してはノースジャパン素材流通協同組合から、広葉樹の採材については青森県森林組合連合会からそれぞれ留意点等の情報提供があり、それらも踏まえ意見交換を行うことで参加者間で採材方法についての認識を共有しました。最後に青森事務所から、採材検討の講評と労働安全等についてお話をいただき採材検討会を終了しました。現地では引続き労働災害防止協議会が行われ、伐倒作業の実演による留意事項の確認等を行いました。午後からは場所を屋内に移し、十和田労働基準監督署と林業・木材製造業労働災害防止協会青森県支部から、林業における労働災害防止等について情報提供を頂き協議会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会に積極的に参加し、国有林材の有効な利用に貢献して参りたいと考えています。



(スギ採材案の説明)



(広葉樹採材の留意点説明)